

各センター 5つの機能

名張市子ども発達支援センター

☎ 62-1088 (子どもセンター3・4・5階)

● 児童発達支援センター「どれみ」☎ 44-6211

開館時間 午前8時30分～午後5時15分

休館日 土・日曜日、祝日、年末年始



子ども発達支援センターに次の5つの機能をもたせ、発達障害の早期発見・支援を行います。

① 初期相談機能

◆子どもの発達を心配する家族からの相談に対して、専門的支援の調整や早期支援に向けた働きかけをします。

◆市立病院の小児発達支援外来受診後の相談援助を行います。

◆臨床心理士などによる専門的なアドバイスのほか、悩みや心配事に寄り添う未就園児教室、診断後教室、就学前教室などの発達支援教室を行います。

② アセスメント機能

◆市立病院小児発達支援外来と連携した発達検査や相談援助のためのアセスメント(評価)を行います。

◆初期相談の段階から、家族の求めがあれば発達検査を行い、助言したり、支援のあり方を考えたりします。

③ コーディネート機能

◆発達支援の調整、相談・療育・医療などの専門支援をコーディネートします。

◆ケース会議などを通じた関係機関との連携支援の調整や、保育・教育現場への巡回訪問を通して、発達が気になる子どもたちの現状を把握しながら課題などの集約をします。

子ども発達支援センター

児童発達支援センター「どれみ」が療育を実施

5F 438.98㎡

- ・療育室
- ・児童発達支援センター「どれみ」事務局
- ・療育室・相談室

4F 655.36㎡

- ・子ども発達支援センター事務局
- ・プレイルーム
- ・相談室・検査室

3F 655.36㎡

教育センター

2F 1177.36㎡

- ・適応指導教室
- ・図書資料室
- ・相談室
- ・学習室
- ・会議室
- ・研修室

1F 1532.00㎡

- ・教育センター事務局
- ・サイエンスルーム
- ・パソコンルーム
- ・ものづくりルーム
- ・展示談話コーナー
- ・多目的スペース
- ・青少年補導センター

名張市教育センター

☎ 64-8801 (子どもセンター1・2階)

● 適応指導教室 ☎ 63-7830 ● 青少年補導センター ☎ 63-7867

開館時間 午前8時30分～午後5時15分

休館日 日曜日、祝日、年末年始

※適応指導教室・青少年補導センターは土曜日休館



教育センターに次の5つの機能をもたせ、教育課題の解決を図りながら、学びの支援を行います。

① 子どもの学びや育ちの支援機能

◆「教育よろず相談」「不登校相談」「青少年悩み相談」を教育センターで実施し、教育相談の総合窓口化を図ります。

◆発達障害をはじめとする特別な支援を要する子どもへの支援を、子ども発達支援センターと連携して行います。

◆適応指導教室(さくら教室)を教育センターに移転し、機能や設備の充実を図ります。

◆専門的技術が求められる理科実験や、ものづくり、伝統文化・芸能・芸術、情報教育などの「特設授業」「合同授業」を実施します。休日や夏休みなど長期休業中には親子体験教室など余暇活動への支援を行います。

② 教育に関する調査・研究機能

◆教育に関する調査・研究・分析を、教職員や大学など教育関係機関と連携して行います。

③ 教職員の支援機能

◆教職員の育成支援や指導力向上を目指し、研修の充実を図ります。指導方法などの相談・支援やメンタルヘルズ相談を行います。

④ 家庭・地域・関係機関の連携・支援機能

◆子育て中の保護者対象の教育講座や講演会を開催します。

◆地域づくり組織やNPO団体などと連携して、親子のふれあう場などを提供します。

◆学校生活支援ボランティアの総合窓口を設置し、地域コーディネーターの育成や、活動の交流を行います。

◆地域の高齢者が持つ知識や経験、技術を子どもたちに教えたり、伝統文化や生活の知恵を伝承する機会や催しを企画します。

⑤ 教育情報・資料の収集・提供機能

◆教育に関する情報や資料を教職員や保護者などに提供します。

◆学校図書館を支援します。

◆教育に関する作品の展示や交流する場を提供します。

教育長に上島和久氏が再任



任期満了に伴い、上島和久氏が教育長に再任されました。任期は平成29年3月31日までの4年間です。